琉球大学学術リポジトリ

「授業と学習集団」に関する研究文献 (2) (1985～89)

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学教育学部 公開日: 2007-07-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 藤原, 幸男, Fujiwara, Yukio メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/1092

「授業と学習集団」に関する研究文献 (2) (1985～89)

藤 原 幸 男

A List of Literature on "Teaching and Learning Collective" in Japan (2)

Yukio FUJIWARA *

(Received May 31, 1989)

年 月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
85. 1	「特集・崩れゆく授業にどう対応するか」(『高校生活指導』77号)
1	三橋謙一郎「教育的タクトに関する一考察」(『徳島文理大学研究紀要』29号)
2	小林一久『体育の授業づくり論』明治図書
2	中村洋志「学習集団の創造と評価活動 一主に算数科教育の面から一」(『学校教育』811号)
	林俊雄「かかわり合い，わかり・できる授業の構成と評価活動一全員参加を目指す2年生『ドッジ・ボール』の授業一」(同上)
	小林一久「ゲームの指導における教師の役割」(同上)
	徳永隆治「『かかわり合い』の指導にみる教師の働きかけ」(同上)
	長沢憲保「遊びをいかした探究過程の組織化一『つまずき』を核にした授業の展開」(同上)
3	武村重和「学習主体の育成と学級集団の創造6カ条」(『学校教育』812号)
	西英喜「学習集団づくりと国語授業の改善」(同上)
3	坂本光男・折出健二編『講座・「できない」子に挑む，1，子どもの自立と学力』明治図書
	浅野誠「子どもの自立にとって学習とは何か」
	高田清「学級集団づくりと子どもの学力形成」
	久田敏彦「授業における『できる』ことと『わかる』こと」
	大園隆久「『できない』子の問題とは何か(小学校)」
	坂本光男「『できない』子の問題とは何か(中学校)」
	子安潤「教材づくり・教材解釈の視点」
3	坂本光男・折出健二編『講座・「できない」子に挑む，2，学習の相互援助をどう組むか』明治図書
	藤原幸男「学習援助と『できない』子の問題」
	佐藤建男「授業における班活動の内容と指導の仕方」
	北林正「『できない』子への援助の組織化と学習リーダーのしごと」

* Department of Educatiom, College of Education, University of the Ryukyus.

年月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
85. 3	田中実「話しあい・討論・共同作業と『できない』子の指導」
	山下政俊「『できない』子を励ます教師の指導性」
3	坂本光男・折出健二編『講座・「できない」子にとりくむ授業と生活指導・小学校』明治図書
	折出健二「総論・授業と生活指導の基本問題」
	〔できない子にとりくむ授業と生活指導・低学年〕
	水谷康徳「低学年の学習と生活を考える」
	君島恵子「『ぼく読めない，書けない，できなーい』からの脱出をめざして」
	〔できない子にとりくむ授業と生活指導・中学年〕
	加藤辰雄「『できない』子にとりくむ集団を生かした学習活動」
	中川均「『夕づる』の授業と子どもたち」
	〔できない子にとりくむ授業と生活指導・高学年〕
	伊嶌明博「漢字征服大作戦にとりくんで」
	小林信次「仲間にとけこまず，学力がない子をどう導いたか」
	折出健二「実践の解説」
3	坂本光男・折出健二編『講座・「できない」子に挑む，4，「できない」子にとりくむ授業と生活指導　中学校』明治図書
	坂本光男「『できない』子にとりくむ授業と生活指導」
	〔「できない」子にとりくむ授業と生活指導・中学一年〕
	中村悌一「ともに学びあう一年」
	滝田衛「T男が学級にいて嬉しいな！」
	〔「できない」子にとりくむ授業と生活指導・中学二年〕
	田中政枝「危険な中だるみ」
	首藤昭五「自律的に学習意欲をもたせていく実践をこそ」
	〔「できない」子にとりくむ授業と生活指導・中学三年〕
	村田徹也「授業・学習を拒否している生徒にどうとりくんだか」
	佐藤博之「授業の工夫，やさしい援助から」
	坂本光男「実践記録の解説」
3	坂本光男・折出健二編『講座・「できない」子に挑む，5，自主的に学ぶ子をどう育てるか』明治図書
	折出健二「学習意欲の形成と学級集団づくり」
	阿部昇「学習運動をどうつくりだしていくか」
	山田純義「家庭における自主的学習習慣の形成」
	浜崎均「進路指導と『できない』子への接近」
	川上敬二「教師集団の連けいをどうつくり出すか」
3	吉本均ほか「授業展開における教師の指導技術＝『タクト』の実証的研究(2)－文芸教材『たぬきの糸車』の授業分析を中心として－」（広島大学教育学部　学部・付属共同研究体制『研究紀要』13号）
3	『（教職研修　臨時増刊11号）個別指導読本』教育開発研究所
	〔Ⅱ小集団学習を生かした指導の個別化〕

年月	著書・論文　所収雑誌・出版社
85.	吉本均「小集団学習と指導の個別化」
	相原信也「子ども同士が互いに刺激しあう集団の育成〔兵庫・伊丹市立昆陽里小〕」
	由田五千雄「個を生かす個人・小集団・全体学習の展開」
	河中節恵「仲間同士で支え，啓発し合う学習体制」
	西尾喬雄「協調精神と援助がみなぎる学級づくり〔鳥取・岸本町立岸本小〕」
	早田修三「集団のなかで個別的な反応を引き出す」
	熊谷仁志「一人ひとりが生き生きと活動する授業の展開〔秋田・皆瀬村立皆瀬中〕」
	高見長昭「肯定的評価を生かした学級集団づくり〔鳥取・東郷町立東郷中〕」
3	吉本均「子ども感の深化と『接続詞のある』授業」（『授業研究』276号）
3	鈴木秀一「書評・吉本均編『講座・授業成立の技術と思想』」（『授業研究』276号）
4	徳永隆治「体育の授業において学習の主体を育てるということ」（『学校教育』813号）
4	桑原昭徳「連載講座・騒がしい教室の授業指導」（『授業研究』277号～292号）
	1　騒がしい子どもの現実をどう見るか（85. 4）
	2　指導的評価とは何か（85. 5）
	3　学級に班をつくる（85. 6）
	4　班長とリーダー（85. 7）
	5　授業における三つの出会い（85. 8）
	6　対面を成立させるための班活動（85. 9）
	7　「学級の歴史づくり」の導入（85. 10）
	8　「対面」から「対話」へ（85. 11）
	9　授業対話の成立をめざして―発表をめぐる班活動の指導―（85. 12）
	10　説得力のある発表のために（86. 1）
	11　「発見」・「創造」のある授業を求めて―社会科「レタス」授業の実践から―（86. 2）
	12　「騒がしい授業」を「自主的活動の授業」へと転換するために―間接的指導とは何か―（86. 3）
4	吉本均「授業の成立にどうきり込むか―学習主体を育て，鍛えるために―」（『学校教育』813号）
4	「特集・学力がつく学級経営はどこが違うか」（『授業研究』277号）
	折出健二「行為の共同化・知的集中・方法の習熟」
	三橋謙一郎「『自主・共同の学習規律』を育てる指導への着目」
	遠藤芳信「学習運動における練習のおもしろさ」
	小林信次「授業を支える学級経営のポイント」
	日浦成夫「小学校・困った学級状況への取り組み方」
	佐藤博之「中学校・困った学級状況への取り組み方」
5	久田敏彦「学習集団の自己指導力の形成」（『授業研究』278号）
6	吉本均「授業の演出とは何か―授業のドラマ的展開」（『授業研究』279号）
6	杉本朝夫「集団の動かし方における演出」（同上）
6	広島大学付属小学校『学習主体を育てる授業の改造と学習集団―活力ある学習への動機づけ―』広島大学付属小学校

年月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
85. 6	吉本均「『わかり合う』授業の構想と展開」（『授業研究』280号）
7	小林一久「体育の授業研究と学習主体の形成」（『学校教育』816号）
	長沢憲保「子どもの探究活動に切り込む教師の働きかけ―『つまずき』を核にした授業の展開―」（同上）
	徳永隆治「個別性を生かすバスケット・ボールの学習をめざして―生活班をもとにしたチーム編成―」（同上）
7	大西忠治・授業技術研究所編『国語教育評論』第4集，明治図書
	折出健二「教師の指導言は何か4，続・『方法』の伝達と指導言」
	〔授業管理の問題を考える〕
	豊田久亀「授業における規律」
	佐藤建男「授業妨害にどう対処しているか（小学校）」
	北林正「授業妨害にどう対処しているか（中学校）」
7	吉本均『授業成立入門』明治図書
8	豊田久亀『学級授業の改革』明治図書
8	坂本泰造「連載，いま，授業を成り立たせるために」（『子どもと教育』133～151号）
	1　"分裂" を克服する授業づくり（85.8）
	2　授業不成立に挑む教師像とは（85.9）
	3　教材ときびしく向かいあう（85.10）
	4　はじめの三分をどうするか（85.11）
	5　授業に勝つための定石をつくる（85.10）
	6　授業に燃えさせる七つの原則（86.1）
	7　終わりの五分間をどうするか（86.2）
	8　学習規律・スタイルの指導　Ⅰ（86.3）
	9　学習規律・スタイルの指導　Ⅱ（86.4）
	10　学習規律・スタイルの指導　Ⅲ（86.5）
	11　授業に集中させる秘密作戦（86.6）
	12　「分裂」に挑む学習班（86.7）
	13　がんばれ！学習リーダー（86.8）
	14　子どもと教師・三つの断絶（86.9）
	15　今に生きる・五つの教師像（86.10）
	16　負けてたまるか！―がんばれ！若い教師（86.11）
8	林俊雄「折り返しリレー（3年）―かかわり合いを深める学習へ向けて―」（『学校教育』817号）
9	「特集，教師の指示・こうすればよくなる」（『授業研究』284号）
	岩下修「『指示の明確化』で授業はよくなる」
	大森修「国語科授業の指示・大西忠治氏の場合」
	向山行雄「社会科授業の指示・有田和正氏の場合」
	高徳験也「算数科授業の指示・行田稔彦氏の場合」
9	「『学習集団づくり』その実践」（「特色ある授業研究・成果と課題」『授業研究』285号）

年月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
85.	脇桝泱子「個がわかりみんなで高まる授業をめざして」
	浅尾敦子「『わかりあう授業』を成立させるための学習規律づくり」
	井口秀美「生き生きと活動する生徒の育成」
	吉本均「〔解説〕授業のなかにこそ『いる場所』を」
10	「特集，子どもへの指示・こうすれば動く」（『授業研究』286号）
	西尾一「集団への指示の出し方・その原則」
	家本芳郎「中学生を動かす『指示』の出し方」
10	林俊雄「子どもの主体性を伸ばす体育の授業 ―教師の働きかけと子どもの主体性―」（『学校教育』819号）
	長沢憲保「学習主体を育てる教育的タクトを求めて(1)」（同上）
10	出原泰明「グループ学習と運動技術」（『体育科教育』85.10増刊）
10	石川正和「発達における個と集団の弁証法的把握について」（日本教育方法学会編『教育方法，14，子どもの人間的自立と授業実践』明治図書）
	豊田久亀「一斉授業の改革と明治期発問論」（同上）
	山下政俊「授業研究の現状と問題」（同上）
11	徳永隆治「学級でする体育の授業の成立をめざして ―ボールゲームにおける『かかわり合い』の指導―」（『学校教育』820号）
11	「特集，一人ひとりを高める学習規律づくり」（『特別活動研究』217号）
	吉本均「授業の成立と学習規律づくり」
	〔提言／学習規律づくりで何に留意するか〕
	湯浅恭正「学ぶ喜びにつながる授業づくり」
	深沢広明「授業の質を変える学習規律を」
	〔一人ひとりを高める学習規律づくり・どこに問題があるか〕
	畠山満枝「低学年の学習規律づくりの問題点」
	須藤猛「中学年の学習規律づくりの問題点」
	野崎坦良「高学年の学習規律づくりの問題点」
	佐藤博之「中学校の学習規律づくりの問題点」
	〔小学校の実践／私の学習規律づくり〕
	須藤芳文「子どもが動き出す学習規律づくり」
	佐々原正樹「一人ひとりの学習権を保障する」
	早田修三「要求し，評価し続けることで」
	梨本道夫「仲間とともにわかる喜びを」
	〔中学校の実践／私の学習規律づくり〕
	岡井清「やる気を育てる学習規律づくり」
	柳沢芳枝「主体的な学習をめざして」
	山崎貫一「自立のための『自主学習運動』づくり」
	浜崎均「学習する意義をわかって学ぶ」
11	吉本均「授業への全員参加を促す小集団学習」（『教職研修』159号）
12	豊田久亀「主体を育てる学習集団の授業」（『学校教育』821号）
	長沢憲保「一人ひとりを学習主体においこむ指導を求めて―指導行為の統一と分化を中心

年月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
	に一」（同上）
86. 1	三橋謙一郎「全員参加の授業と教師の指導性一音楽科教育を中心として一」（『徳島文理大学研究紀要』32号）
1	林俊雄「指導における伝達と引き出し一三年，マット運動の実践より一」（『学校教育』822号）
2	大西忠治・服部潔・坂本泰造編『授業の受け方・学び方の指導』明治図書 Ⅰ　大西忠治「授業の受け方・学び方の指導」 Ⅱ　授業の受け方・学び方をどう教えるか 近藤謙介「入門期の授業の受け方・学び方の指導」 須藤猛「国語科授業の受け方・学び方の指導」 佐藤建男「社会科授業の受け方・学び方の指導」 木藤仁視「算数科授業の受け方・学び方の指導」 角岡正卿「中学校における授業の受け方・学び方の指導(1)一美術科を中心に一」 石井雍大「中学校における授業の受け方・学び方の指導(2)一社会科『産業革命』を中心に一」 前沢　泰「中学校における授業の受け方・学びの指導(3)一国語科の授業展開一」 Ⅲ　解説（大西忠治）
2	阿部昇「大森修氏に反論する」（『授業研究』291号）
2	吉本均「学習する＝間違うことへの権利を」（『学校運営研究』308号，明治図書）
2	井本伝枝「学習集団研究小委員会の歩み」（『生活指導』351号）
3	吉本均「指導案の意味・機能をどう見直すか」（『授業研究』292号）
3	坂本光男・大畑佳司編『授業にとりくむ集団をどうつくるか，中学校編』明治図書 坂本光男「中学校における学習集団の形成」 佐藤博之「授業の規律をつくる」 加部豪也「発言をどう組織するか」 文本レイ子「授業における班の指導」 池田憲一「教材研究と授業の組み立て」 中西義長「自主的学習へのとりくみ」 〔実践の解説〕 坂本光男「学習内容と方法の結合を」
3	薄井道正「大森論文『国語科の指示・大西忠治氏の場合』への質問」（『授業研究』292号）
3	「〔日本教育学会第44回大会報告〕人格形成における教授学習の役割」（『教育学研究』53巻1号） 〔提案者〕仲田陽一，吉田章宏，仲本正夫，鈴木秀一 〔指定討論者〕折出健二，須藤敏昭
3	桑原昭徳「授業における指導対象と教師教育（試論）」（『教師教育の研究一理論と実践一』第1巻，山口大学教育学部）
3	吉本均「『まなざし』を共有して向かい合う」（『初等理科教育』20巻3号，初等出版）

年月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
86. 3	吉本均・恒吉宏典・三村和則・長沢憲保・佐々有生・大里章裕「授業展開における教師の指導技術＝『タクト』の実証的研究(Ⅲ)――造形教科における認識と表現の組織化を中心として――」（広島大学教育学部　学部・付属共同研究体制『研究紀要』14号）
4	吉本均（編）『授業をつくる教授学キーワード』明治図書
4	吉本均「『まなざし』の共有から『真理・真実』の共有へ」（『学校教育』825号）
4	吉本均「連載，子どもとの対話」（『小学校学級経営』1～12号）
	1　まなざしと子ども感（86.4）
	2　授業のタクトと語りかけ（86.5）
	3　語りかけと介入の論理（86.6）
	4　プロ教師の仕事と「子どもを変える」キーワード（86.7）
	5　授業がドラマとして成り立つとき（86.8）
	6　学級の歴史づくりと「肯定」の発見（86.9）
	7　「呼応のドラマ」を構想する（86.10）
	8　指導とは何か―キーワードの確立を―（86.11）
	9　「見る」科学から「する」技術の学へ（86.12）
	10　発見し，ねうちづけ，主体を育てる（87.1）
	11　「教える」ことの三つのモデル（87.2）
	12　「劇場」モデルと応答の成立（87.3）
4	「特集，授業・学習集団の指導をどうすすめるか」（『生活指導』354号）
	浅野誠「教師にとって授業とは何か―授業をつくる力量として何が必要か」
	家本芳郎「いま，どのような授業をつくるか」
	折出健二「学習集団の今日的課題」
	〔授業における学習集団をどう組織するか〕
	浅見慎一「学習規律」
	大畑佳司「学習班」
	坂本泰造「学習リーダー」
	〔授業における指導をどうすすめるか〕
	釈鋼二「問答」
	大森弘志「話し合い・討論」
	児山正明「教師の指導言」
	小林正洋「教師の評価」
	〔学力差にどう対応するか〕
	竹内常一「できない子の学力をどう分析するか」
	井本伝枝「学力差に応じた授業をどうすすめるか〔小〕」
	坂本光男「学力差に応じた授業をどうすすめるか〔中〕」
	竹内一男「できない子にどう取り組むか〔小〕」
	岩瀬暉一「できない子にどう取り組むか〔中〕」
	〔学級・学年の学習活動をどうすすめるか〕
	横川嘉範「基礎学力をどうつけるか―学力補充を中心として―」
	宮崎久雄「自主的学習活動をどう指導するか〔小〕」

年月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
86.	真鍋親寛「自主的学習活動をどう指導するか〔中〕」
	〔授業研究をどうすすめるか〕
	神保映「わたしの授業案づくり〔小〕」
	川辺克己「わたしの授業案づくり〔中〕」
	能重真作「教科部会の研究をどうすすめるか」
	佐藤建男「学年の授業研究をどうすすめるか〔小〕」
	中村勝彦「学年の授業研究をどうすすめるか〔中〕」
	服部潔「学校ぐるみの授業研究をどうすすめるか〔小〕」
	中川晋輔「学校ぐるみの授業研究をどうすすめるか〔中〕」
4	「特集，『個』と『集団』への配慮で授業はこう変わる」（『授業研究』293号）
	佐藤博之「授業場面における『個と集団』のかかわらせ方」
	秋山達也「大西忠治『からみ問答』を追試して」
4	大槻和夫「連載，国語科教育授業改革の課題」（『教育科学・国語教育』361～375号）
	1　問題の発見―何を改革するのか（86.4）
	2　「授業の地獄」からの脱出（その1）（86.5）
	3　生き生きとした学習をつくりだすために（86.6）
	4　授業過程改革の基本（86.7）
	5　主体的・能動的な学習に立ち上がらせるために（その1）（86.8）
	6　主体的・能動的な学習に立ち上がらせるために（その2）（86.9）
	7　子どもたちの目を醒ます語りかけを（86.10）
	8　「学習の手引」に工夫を（86.11）
	9　関わり合う教室を創り出すために（86.12）
	10　指導的評価活動の見直し（87.1）
	11　指導事項の重点化を（87.2）
	12　授業改善のすじみち（87.3）
5	「特集，学習にとりくむ学習集団をつくる」（『中学校学級経営』2号）
	吉本均「なぜ学習に集団でとりくむか ―みんなで学ぶことの意味―」
	〔学習にとりくむ学級をつくる条件〕
	首藤昭五「『学習目的』をどう自覚させるか」
	永田暉「自主・共同の学習体制をどうつくり出すか」
	井口秀美「全員の授業参加・発言をどう保障するか」
	池田憲一「問答・話し合い・討論をどう指導するか」
	〔学習にとりくむ学級の組織化〕
	丹沢芳明「一年生集団にはこれだけの手順を」
	山崎貫一「二年生集団にはこれだけの手順を」
	佐藤健二「三年生集団にはこれだけの手順を」
	〔学習集団を成立させるキーポイント〕
	後藤義昭「生徒をゆさぶる発問」
	岡井清「生徒を集中させる指示とは」
	草刈英郎「生徒を納得させる説明・助言とは」

年月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
86. 5	吉本均「『授業の山場』と発問づくりの条件」（『教育科学・国語教育』363号）
5	桑原昭徳「個性的な発表力を育てるために」（『学校教育』826号）
	徳永隆治「みんなで『わかり・できる』跳び箱運動の学習をめざして―教材の構成と生活班を生かした授業過程―」（同上）
	小林一久「なぜ跳び箱を指導するか」（同上）
5	大西忠治「授業場面における『個と集団』のかかわらせ方」（『授業研究』294号）
5	「特集，子どもの動かし方で学級はこう変わる」（『小学校学級経営』2号）
	田中実「集団への指示の出し方」
5	「特集，授業と学級づくり」（『教育研究』1011号）
	西光寺亨「学級づくりこそ教育の基」
	庄司和晃「学級開きという日本的発明の思想」
	有田和正「授業へ挑戦する子供を育てる」
	宮沢協「学級づくりと教師の姿勢」
6	大西忠治・授業技術研究所編『国語教育評論』第5集，明治図書
	折出健二「教師の指導言とは何か，5，『指導言』の技術の論理―管理的指示は止揚されるか」
	山下政俊「『学習集団の指導』実践課題は何か(1)」
6	坂本泰造『どの子も燃える授業の創造』あゆみ出版
6	浅野誠・大畑佳司編『講座・小学生問題，3，学ぶ力をどうつけるか』明治図書
	須藤猛「学ぶからだ，意欲，自学の力をどうつくるか―国語科授業の受け方・学び方の指導を中心に―」
	横山明「具体的思考と抽象的思考の形成と発展」
	汐見稔幸「話しことばと書きことばの展開」
	中村透「表現活動能力の育成 ―音楽―」
	関誠「人間認識と社会認識の教育」
	谷田川和夫「学力格差，落ちこぼれへの取りくみ」
6	藤原幸男「学習集団研究の総括と研究課題」（『授業研究』296号）
6	山本洋幸『いま授業で困っている人に』高文研
6	行田稔彦「『教師の指示』で変わるほど授業は単純か―高徳（横山）験也氏への反批判―」（『授業研究』295号）
7	大西忠治「〔書評〕豊田久亀著『学級授業の改革』」（『授業研究』297号）
7	佐々有三「個性的な造形表現を生み出す教材の開発―『ソーラーバルーンをつくろう』（5年生）における『発問』と『実物＝典型提示』―」（『学校教育』828号）
	浜松敦子「みんなでできる『音楽』をめざして―生活班を中心とした取り組み―」（同上）
8	折出健二『人格の自立と集団教育』明治図書
8	池田具美「大西忠治『からみ問答』を追試して（秋山達也論文への疑問）」（『授業研究』298号）
8	深沢安夫『豊かな言語を育てる応答・共感・対話の授業』東方出版
9	吉本均「呼応のドラマの構想図―『働きかける』指導案―」（『教育研究』32巻9号）
9	吉本均「『教授学的なもの』の成立原点と『知のあり方』―現代学校における授業成立の

年月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
86.	本質を求めて―」（日本学校教育学会編『新しい学校教育への道』東信堂）
10	吉本均『学校教授学の成立』明治図書
10	吉本均「授業の成立原点とその思想―『現代』における『教授の知』とは何か―」（日本教育方法学会編『教育方法15，実践にとって教授学とは何か』明治図書）
10	出原泰明『体育の学習集団論』明治図書
10	「小特集，授業と生活指導」（『高校生活指導』87号） 和田徹・町井弘明・市川政弘・服部明・鈴木あぐ里・鞠川了諦「学習集団論をどう発展させるか」 和田徹「『新しい授業』が見えてきた」 町井弘明「授業での全員参加をどう成り立たせるか」
10	庄司和晃『科学ばっかり主義の克服』明治図書
10	岩下修『「指示」の明確化で授業はよくなる』明治図書
10	坂本泰造『集中の授業づくり』日本書籍
10	小林一久「指導の質を問いたい」（『学校教育』831号）
	佐々有三「個性的造形表現を生み出す教材の開発(2)―『ソーラーバルーンをつくろう』（5年生）における『試作品づくり』と『発問』―」（同上）
11	徳永隆治「生活班を生かした体育の授業づくり―学級教授組織の中での『個性の尊重』」（『学校教育』832号）
11	子安潤「社会科の授業指導とは何か―社会科の授業過程と集団の指導と教科の方法の指導―（『歴史地理教育』404号）
12	「特集，『指示』は子どもの自主性をつぶすか」（『現代教育科学』350号） 寺尾慎一「実践的指導力の問題として考えたい」 水谷康徳「集団を動かす『指示とは」
12	「特集，討論的授業で教室に活気を！」（『教育科学・国語教育』372号） 向山洋一「討論的授業成立の条件」 大西忠治「『わからない』所の発見と追求を」 井関義久「討論的授業で批評の学習を」 坂本泰造「討論的授業方法・ルールをどう教えるか」
12	上野ひろ美「まなざしを共有し，関わりをつくり出す」（『学校教育』833号） 長沢憲保「『つまずき』をふまえた教材・教具の開発とは―『空気の弾性』の視覚化をめぐって―」（同上） 山下政俊「授業指導と授業評価に関する教授学的研究」（『島根大学教育学部紀要（教育科学）』第20巻」）
87. 1	吉本均「戦後民間教育運動の成果は『教育技術』に何を示唆するか／生活指導における集団づくりの方法」（『現代教育科学』362号）
1	「特集・授業と生活指導」（『高校生活指導』88号） 押川昌一「コントラストの勧め―和光高校の劇作授業―」 内田真木「群読の授業について」 和田徹「発達・ことば・授業の周辺」

年 月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
87. 1	豊田久亀「子どもを生かし育てる評価活動」（『学校教育834号）
	長沢寛保「学習主体を育てる教師の指導性とは」（同上）
	林俊雄「『かかわり合い』の中での体育の授業――一人ひとりを伸ばす指導としての評価活動――」（同上）
	徳永隆治「生活班を生かした体育の授業づくり（その２）――個別的課題の追求とグループ――」（同上）
2	「特集・集団を動かす指示・よい例わるい例」（『中学校学級経営』11号）
	藤原幸男「集団を動かす指示の条件」
	子安潤「集団を動かす指示の機能とは」
	後藤義昭「集団を動かす指示の研究方法」
	〔誌上研究〕「集団への指示の出し方・その原則」
	＜提案＞集団への指示の出し方・その原則（利根安彦）
	＜意見＞
	家本芳郎「指導の系譜でとらえた指示論」
	太田昭臣「『指示』によって子どもに何を育てようとするのか」
	久田敏彦「指導としての『指示』の成立条件を明確に」
2	二杉孝司「『指示』は授業の管理につながるか」（『教育科学・社会科教育』293号）
2	吉本均「『ゆさぶり発問』は授業に有害か」（『社会科教育』293号）
2	細江剛「教科係も班でがんばろう！」（『生活指導』366号）
2	小林信次「授業参観をどう演出するか」（同上）
87. 2	藤原幸男「集団における『関わり合い』の活性化」（『学校教育』835号）
	徳永隆治「学級での授業づくり ――個と集団の統一をめざして ――」（同上）
3	吉本均「応答し合う授業をつくりだすために ―吉本均監修『学年別・学習集団の指導』（小学１年～６年　全６巻　明治図書）―」（『現代教育科学』364号）
	寺尾慎一「授業をみせて，批評をあおぐ ―学習集団づくりの教師たちの出発点―」（同上）
3	佐藤博之「討論のルールはこういう手だてで」（『中学校学級経営』12号）
3	馬場一博「教科の討論的授業に学ぶ」（『中学校学級経営』同上）
3	小林信次「社会科の学習集団の追求 ―『寒い土地の人々のくらし』を手がかりに ―」（『生活指導』367号）
3	吉本均責任編集『現代授業研究大事典』明治図書
3	寺尾慎一「書評・岩下修「『指示』の明確化で授業はよくなる」（『授業研究』306号）
3	大西忠治／「読み」の授業研究会『国語教育評論』第６号
	藤原幸男「授業における学習方法の構造」
	寺尾慎一「『学習集団の指導』実践課題は何か(2)」
3	近藤正「学級・授業づくりと教師の主体形成」（将積茂・平野一郎・長谷川和・霜田一敏編『教師学入門 ―現代に生きる教師の学問形成―』朝倉書店）
3	子安潤「高校『考える』社会科実践の分析―三つの加藤公明実践から―」（『愛知教育大学教科教育センター研究報告』第11号）
4	子安潤「授業指導の力量を高めよう」（ワープロ印刷）

年月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
87. 4	佐藤正夫『教授学原論』第一法規
4	「連載・楽しい授業」（『生活指導』368～378号）
	小島昌世「Negro History ―おじいちゃんの思い出すことといえばたったこれだけ―」（368号）
	国土喬「『読み深めることの喜び』を求めて」（370号）
	阿部昇「確かな知的興奮を！」（371号）
	神保映「地元漁業にこだわった社会科の授業」（374号）
	小林正洋「俺，勝ちたい」（375号）
	高橋廉「子どもの生活認識に根ざした授業を」（376号）
	子安潤「楽しい授業の成立条件」（378号）
4	二杉孝司「『指示の明確化』が授業研究にもたらしたもの」（『授業研究』308号）
4	坂本泰造「子どもたち全員が参加・集中・熱中する授業を」（『子どもと教育』157号）
4	小林信次「連載，授業づくりの技術と方法」（『子どもと教育』157号～178号）
	1　「授業びらき」を成功させる（87. 4）
	2　授業への集中をつくりだす（87. 5）
	3　授業の受け方・学び方の指導（87. 6）
	4　話し合い・討論のさせ方（87. 7）
	5　学習班の育て方（87. 8）
	6　教育実習生の授業づくりに学ぶ（87. 9）
	7　詩の授業をどうつくるか（87. 10）
	8　教育実習生の授業を分析する（87. 11）
	9　若い教師の授業を分析する（87. 12）
	10　模擬授業を分析する（88. 2）
	11　先輩教師の授業を分析する（88. 3）
	12　授業をどう成立させるか（88. 4）
	13　国語「月の輪ぐま」―発問と助言づくり（88. 5）
	14　国語「月の輪ぐま」の授業（88. 6）
	15　説明文の読み方と授業（88. 7）
	16　子どもを見すえた授業の計画（88. 8）
	17　授業で力量をつける方法とは（88. 9）
	18　授業をささえる学級づくり（88. 10）
4	大西忠治「連載，指導の技術と管理の技術」（『現代教育科学』365～376号）
	1　日常の教育実践と理論的追究のはざまで（87. 4）
	2　「指導・管理」と「発問・指示」とのかかわり（87. 5）
	3　「指示」とは何か？（87. 6）
	4　指導の技術・管理の技術（87. 7）
	5　管理の技術と指示を不必要とする合図（87. 8）
	6　リアリズムの教育（87. 9）
	7　合意形成の技術とコミュニケーションの技術（87. 10）
	8　教育的管理の技術（87. 11）

年月	著書・論文　所収雑誌・出版社
87.	9　教育的管理の技術2（87.12）
	10　教育的管理の技術3（88. 1）
	11　「指導」について1（88. 2）
	12　「指導」について2（88. 3）
4	桑原昭徳『“騒がしい”学級の授業指導』ぎょうせい
4	坂本泰造『授業は「ゆさぶり」で勝負する』あゆみ出版
4	大西忠治『授業づくり上達法』民衆社
4	吉本均・恒吉宏典編『授業の構想と展開のタクト』ぎょうせい
5	大西忠治「連載，実践のポイント ―授業―」（『生活指導』369～378号）
	1　教師の技術を伝承しよう（87.5）
	2　授業におけるしつけと手順（87.6）
	3　小島昌世さんの発問計画（87.7）
	4　神保・浅利さんの学級通信より（87.8）
	5　発問からはじまる授業への疑い（87.9）
	6　からみ・ミニ記録・ものいわぬ学級（87.10）
	7　生徒が発言する授業にするために（87.11）
	8　指名発言をどうするか（87.12）
7	「特集・学習規律確立の取組みに学ぶ」（『特別活動研究』237号）
	吉本均「学習規律とは何か・教師の理解を再考する」
	有田和正「学習規律の確立・教師の指導の何が問題か」
	宮崎久雄「学習規律の確立と自治的活動」
8	大西忠治／科学的読みの授業研究会『国語教育評論』7号
	藤原幸男「文学作品の読み方指導をめぐって」
	久田敏彦「『学習集団の指導』実践課題は何か(3)」
8	前沢泰『授業のシナリオをつくる』明治図書
9	「特集・学力向上運動をまき起こそう」（『小学校学級経営』18号）
	〔自主的な学習運動へ〕
	安孫子一彦「『なぜ勉強するのか』の問いかけ」
	鍋島博「学習リーダーの発見と問いかけ」
	森正司「学習ノートづくりへの問いかけ」
	安達覚「学習グループづくりへの問いかけ」
	畑中広之「学習成果発表会への問いかけ」
	〔学力向上運動の展開〕
	秋生玲子「ひらがなの定着をめざして」
	森新吾「全員に宿題を提出させていく取り組み」
	宇田川浩樹「『漢字ウィーク』で意欲を引きだす」
	石村由紀子「なっとうのようにねばり強く」
	藤巻哲男「短い時間を使う学力向上作戦」
	阿倍初雄「漢字遊びで学力を」
11	「特集・生徒全員が熱中する授業づくり」（『中学校学級経営』20号）

年月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
87.	〔学習集団の再検討〕
	折出健二「学習集団指導の四つの要素」
	岩瀬暉一「学習の規律の確立と集団で学ぶ楽しさを」
	斎藤大仙「仲間に前向きの関心を」
12	「特集・授業不成立で悩む先生へ」（『生活指導』378号）
	川辺克己「ワンパターンの授業をどう克服するか」
	高波勉「教師のロマンを語る」
	宮崎久雄「職場の仲間とどう話し合ったか」
	宍戸洋之「子どもとのコミュニケーションをどう成立させたか」
	平井威「手すき和紙をつくる」
	坂本泰造「授業不成立で悩む先生へ」
12	山下政俊『教育的指導の探究と創造』（自費出版）
88. 1	「特集・ものの見方・考え方をどう豊かにするか」（『生活指導』379号）
	竹内常一「ものの見方・感じ方・考え方をどう豊かにするか」
	金子節子「楽しい授業のためのエチュード」
1	「実践のポイント・授業」（『生活指導』379～385号）
	坂本泰造「集中・熱中・全員参加の授業をどう創り出すか」（88.1）
	坂本泰造「集中・熱中・全員参加の授業をどう創り出すか(2)」（88.2）
	坂本泰造「集中・熱中・全員参加の授業をどう創り出すか(3)」（88.3）
	坂本泰造「集中・熱中・全員参加の授業をどう創り出すか(4)」（88.4）
	坂本泰造「集中・熱中・全員参加の授業をどう創り出すか(5)」（88.5）
	坂本泰造「集中・熱中・全員参加の授業をどう創り出すか(6)」（88.6）
2	折出健二「交わりの中で自分をどうつくっていくか」（『生活指導』380号）
	井本伝枝「『なぜ，勉強するのか』の問いかけと『自主的実践的共同研究』を」（同上）
2	「特集・面白い授業をどう創り出すか」（『中学校学級経営』23号）
	家本芳郎「子どものレベルに立つ」
	利根安彦「相互に磨き合える学習集団づくりを見直す」
2	石黒修『「討論」で授業を変える』明治図書
3	「特集・実力がつく『勉強計画』の教え方」（『中学校学級経営』24号）
	〔やればできる中学生の「勉強計画」とは〕
	豊田久亀「まずやる気が起きる授業を」
	佐藤博之「やる気，計画，励まし」
3	「特集・『学級づくりの技術』上達法」（『小学校学級経営』24号）
	吉本均「『否定』のなかに『肯定』を見る」
	大西忠治「やはり原則を問う」
3	庄井良信「小集団の教育構造論(Ⅱ)―『学習班』の教授学的意義に関する史的考察を中心に―」（『中国四国教育学会・教育学研究紀要』第一部，33巻）
3	白石陽一「学級における応答関係の指導」（『中国四国教育学会・教育学研究紀要』第一部，33巻

年月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
88. 3	三橋謙一郎「集団思考の組織化と教師の指導性―国語科『方言の話』の授業分析 を中心に―」（『徳島文理大学研究紀要』35号）
4	高田清「マカレンコの『平行的教育作用』を考える」（『高校生活指導』94号）
	学習指導における「集団の教育力」について言及
4	「特集・若い仲間へ・学級担任としての出発」（『生活指導』383号）
	〔集中した授業づくりのポイント〕
	国土喬「教材分析と板書計画と授業の脚本づくり・小学校」
	松本幸夫「教師自身が何を指導するかを明確に・中学校」
4	「特集・『教室びらき』の授業で何をやるか」（『中学校学級経営』25号）
	〔「教室びらき」こんな授業の演出を」〕
	山下政俊「再生のイニシェーションとして」
	〔「教室びらき」最初の一時間でできることとは〕
	利根安彦「国語科授業の『教室びらき』のポイント」
4	藤岡信勝「戦後教育研究にみる『教材研究と発問づくり』の問題」（『授業研究』323号）
	西郷竹彦氏の授業にみる『教材研究と発問づくり』（同上）
	大西忠治氏の授業にみる『教材研究と発問づくり』（同上）
	斎藤喜博氏の授業にみる『教材研究と発問づくり』（同上）
	左巻建男氏の授業にみる『教材研究と発問づくり』（同上）
	鈴木正気氏の授業にみる『教材研究と発問づくり』（同上）
	高田典衛氏の授業にみる『教材研究と発問づくり』（同上）
4	「特集・討論の授業をどう組織するか」（『現代教育科学』377号）
	岡本明人「なんのために討論をさせるのか」
	〔提言・こうすれば討論の授業は組織できる〕
	池田久美子「失敗の分析」
	片上宗二「討論場面に至る道筋をもっと大切に」
	森一夫「意見を弁証法的に高めるようにする」
	石黒修「授業における討論の原則」
4	吉本均「『学ぶ意欲』の主体を育てる指導とは何か」（『学校教育』849号）
5	「特集・『視点』は文学の授業をどう変えたか」（『現代教育科学』378号）
	鶴田清司「いま，なぜ『視点』学習が問われるか」
	〔文学の授業における『視点』の有効性〕
	小田迪夫「語らせる授業から説明させる授業へ」
	藤原和好「読者が創る虚構の世界」
	池田久美子「『想像』の必要性」
	加藤寛一「確かで豊かな深い読みを」
	杉田知之「比較考察＝人称視点と『内の目』『外の目』」
5	「特集・『授業のルール』をどうつくり出すか」（『中学校学級経営』26号）
	〔「授業のルール」づくりで留意したいこと〕
	三原征次「授業のルールは教育実践の課題」
	山本洋幸「ルールよりパターンを」

年月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
88.	〔「授業のルール」づくりは手順をふんで〕
	佐藤博之「授業以前のルールづくりのポイント」
	永田暉「授業の受け方・学び方のルールづくりのポイント」
	川上敬二「自主学習のためのルールづくりのポイント」
6	岸光城『授業成立の技術と理論』東信堂
6	杉山雅『私語とたたかうシナリオ授業』明治図書
7	山下政俊「宿題をめぐってどんな考え方があるか」（『小学校学級経営』28号）
7	「特集・授業で役立つ学習ルールづくり」（『授業研究』326号）
	橋本定男「あなたの授業に欠ける“学習のしつけ”はここだ」
	〔どんな学習ルールをどうつくるか〕
	松垣和年「挙手のし方＝どんなルールがよいか」
	秋生高志「発言・発表のし方＝どんなルールがよいか」
	吉崎安浩「話合い・討論のし方＝どんなルールがよいか」
	小酒井基文「ノートのとり方＝どんなルールがよいか」
	竹川訓由「黒板の使い方＝どんなルールがよいか」
	秋山達也「家庭学習のし方＝どんなルールがよいか」
7	豊田久亀『明治期発問論の研究』ミネラルヴァ書房
7	「特集・ゆさぶり発問をどう創り出すか」（『教育科学・国語教育』396号）
	〔教材分析によるゆさぶり発問のつくり方・ここに留意を〕
	小和田仁「表現の必然性を，種々の視点から」
	大西忠治「意表をつく解釈・たちふさがり・助言の系列」
	府川源一郎「教材を『異化』する発問」
	〔多様な発言を引き出すゆさぶり発問のつくり方・ここに留意を〕
	藤井圀彦「多発の『ゆさぶり』は不発に終わる」
	吉田裕久「『ゆさぶり』発問の機会と方法」
	中西一弘「新たなる問いかけをもって」
8	「特集・なぜ『班づくり』が問題になるか」（『現代教育科学』381号）
	〔巻頭提言・学級にとって「班」は必要か〕
	豊田久亀「学習のために班は必要」
	久田敏彦「共同する『関係』と『行為』を導きだす班を」
	白井慎「班は学級にとって両刃のかみそり」
8	藤原幸男「授業における学習方法の指導(3)／見方の形成と学習方法」（『国語教育評論』8号）
8	加藤元康「学習集団の中に援助をどうつくりだすか―山村をどう学習に参加させるか―」（全生研東海・北陸地区学校編『子どもたちの自立をどうひきだすか』明治図書）
8	大西忠治・服部潔・坂本泰造編『授業びらきと授業じまい』明治図書
	Ⅰ　授業びらきと授業じまいの課題（坂本泰造）
	Ⅱ　授業びらきと授業じまいの実践
	小学校低学年の実践（山田純義）
	小学校中学年の実践（遠藤惟也）

年月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
88.	小学校高学年の実践Ⅰ（釈鋼二）
	小学校高学年の実践Ⅱ（国土喬）
	中学校の実践Ⅰ（松本幸夫）
	中学校の実践Ⅱ（後藤義昭）
	中学校の実践Ⅲ（太田昭臣）
	Ⅲ　解説（坂本泰造）
8	高生研編『考える武器を与える授業』明治図書
	序章　「新しい授業」がみえてきた（和田徹）
	Ⅰ章　からだをひらき，わざを身につける授業を
	1　〔国語〕声を出す授業（川辺恵）
	2　〔美術〕生徒一人ひとりを主体とする授業（森谷孝雄）
	Ⅱ章　生活感情をゆさぶる教材を
	1　〔商業〕その気になれば何でも教材（北道子）
	2　〔英語〕生活感情を揺さぶる授業（服部明）
	Ⅲ章　考える武器を与える授業を
	1　〔世界史〕すぐれた教材が決め手となる（山本洋幸）
	2　〔化学〕考える化学の授業をつくる（町井弘明）
	3　〔国語〕＜読みの技法＞で文章を吟味させる（薄井道正）
	Ⅳ章　学習を組織しよう
	1　〔保健〕生徒と共につくり出す授業（若井吉太郎）
	2　〔物理〕慣性の法則は生徒の世界観を変革しうるか（上条隆志）
	Ⅴ章　教室からとびだそう
	1　〔社会〕「こんな授業もあるといいのにね」（滝口典子）
	2　〔商業〕教科書で学べないものを自分たちの手で（樋口孝生）
	補章　学習組織の実践と理論化の試み（西平正喜）
	まとめ　授業変革の視点（鞠川了諦）
9	三橋謙一郎「学力形成と授業づくり一国語科『ごんぎつね』の授業分析を中心に一」（『徳島文理大学研究紀要』36号）
10	豊田久亀「共感的応答のない指導」（『小学校学級経営』31号）
10	「特集・すぐれた授業づくりへの道」（『教育科学・国語教育』400号）
	〔「授業の名人」どこがすぐれているのか〕
	伊藤経子「武田常夫の国語の授業」
	藤井圀彦「青木幹勇の国語の授業」
	須田尚「野口芳弘の国語の授業」
	佐々木俊幸「向山洋一の国語の授業」
	阿部昇「大西忠治の国語の授業」
	〔「すぐれた授業」の創出・そのポイントは何か〕
	深川明子「聴きとる力と応えることばを磨く」
	小田迪夫「方法の枠組みの外に目を配ること」
	長尾高明「『調べる学習』を」

年月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
88.	小和田仁「個々の学習からの出発」 足立悦男「ねらいの見える授業」 鶴田清司「斎藤喜博の『出口の授業』なぜ評価が分かれたか」
10	子安潤「能力主義競争の多様化と授業指導の課題」（日本教育方法学会編『教育方法　17，教育方法を問い直す』明治図書）
10	大西忠治「現代の子どもの状況と指導」（日本教育方法学会編『教育方法　17，教育方法を問い直す』明治図書）
11	「実践のポイント・学級集団づくり」（『生活指導』390～392号） 服部潔「授業を成り立たせるためにいま，なにを」（88.11）
11	大西忠治「授業の指導案／国語・芥川龍之介『トロッコ』の授業一展開部の形象読み一」（『生活指導』391号）
11	「特集・『中学生の自立』をなぜ問うのか」（『中学校学級経営』32号） 〔自立心を育てる生徒指導一どこに問題があるか〕 久田敏彦「自立要求にもとづく指導を」 山下政俊「自立への共感とそれを誘う指導を」
12	山下政俊「授業指導と授業評価に関する教授学的研究(Ⅱ)」『島根大学教育学部紀要（教育科学）』22巻2号
12	権藤誠剛「授業における教師の『表現的』行為と『演出的』行為(1)」『島根大学教育学部紀要（教育科学）』22巻2号
89. 1	「特集・教師のための授業入門」（『生活指導』393号） 竹内常一「教師のための授業入門一教科を通しての生活指導再考一」 服部潔「授業の基礎的力量をどう高めるか」 浅見慎一「子どもが動く発問をつくるために一小学校の歴史学習から一」 井本伝枝「子どもの討論や発言をどう組織するか一生活のなかでものの見方，考え方を高める一」 遠藤惟也「授業の評価をどうすすめるか」 国土喬「子どもの授業の型をどうつくるか一「客観的読み方」を身につけさせる一」 長谷川忠臣「学級会で授業の問題をどう取り上げるか」 坂本泰造「より科学的な読み方の指導を」
1	生活指導実践事典編集委員会『生きる力を育てる生活指導実践事典』日本標準 第3章　授業づくりと生活指導 1　授業づくりと生活指導 2　わかる喜びとやる気を起こさせる授業と集団づくり 3　「個を活かす」ことと「一斉指導」をどう結びつけるか 4　ともに学びあい，子どもとつくる授業と集団づくり 5　「できる子」と「できない子」の励ましあい，教えあいをどうつくりだすのか 6　いきいきとした発言をどうつくりだすか 7　無気力な教室，さわがしい教室からどうぬけだすか 8　授業の規律をどうつくりあげるのか

年月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
89.	9　学ぶことを生きる力にする授業づくり
2	小島昌世・折出健二「英語の模擬授業（第30回大会）の記録と分析」（『生活指導』395号）
2	大西忠治「ことば文化・閉ざされた観念と常識からの自由」（『教育』505号）
2	石黒修『討論の授業入門』明治図書
3	小島昌世・折出健二「英語の模擬授業（第30回大会）の記録と分析」（『生活指導』396号）
3	大西忠治『授業で悩む教師へ』明治図書
3	「〔報告と討論〕学校はなぜ『荒れる』のか（その３・授業）」（『高校生活指導』99号）
3	三橋謙一郎「『正答主義』の克服と授業展開のタクト―『答えにからみ，答から始める』タクトのあり方を探る―」（『徳島文理大学研究紀要』37号）
4	「授業における集団づくり」（『生活指導』397～403号）
	1　授業の中での集団づくり（小林義明）（89.4）
	2　授業への集中をどうつくりだすか（池田憲一）（89.5）
	3　授業拒否・授業妨害に立ち向かうために（今倉保司）（89.6）
	4　授業成立への努力（安島文男）（89.7）
	5　班長会（ガイド会）の指導（小島昌世）（89.8）
	6　授業における集団づくり―五氏の連載を読んで―（大西忠治）（89.9）
4	「特集・子どもにとって授業とは何か」（『生活指導』398号）
	折出健二「子どもにとって授業とは何か」
	高波勉「授業で子どもたちとの合意をどうつくるか」
	〔実践記録・子どもにとって授業とは何か〕
	川辺克己「教科担任と学級担任」
	小笠原健三郎「返事のない便りを出しつづける」
	滋賀広夫「せんせい　大好き　べんきょう　大好き」
	釈鋼二「授業における合意形成―実践記録から学ぶこと―」
	〔子どもにとって授業とは何か―子どもの証言〕
	大畑佳司「とまどいの中にいる子どもたち」
	阿部昇「学ぶ喜びを失わない授業のあり方」
4	阿部昇『教師のための説得の技術』民衆社
	Ⅲ　授業で説得する
4	吉本均「学級づくりが授業をかえ，授業づくりが学級をかえる」（『学校教育』861号）
5	大西忠治「連載・学習集団指導の問題点」（『中学校学級経営』38～48号）
	1　授業不成立と学習集団（89.5）
	2　新指導要領と学習集団（89.6）
	3　「教科内容」と「学習集団」の関係（89.7）
	4　遂に学習集団追求のときはきた（89.8）
	5　教科内容への疑いと問いかけ（89.9）
	6　生徒との集団的合意形成（89.10）
	7　学習集団における組織の問題（89.11）

年月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
89.	8　学習班・学習ガイドの指導（89.12）
	9　学習係の指導（90.1）
	10　学習係の指導(2)（90.2）
	11　技術と訓練（90.3）
5	山下政俊「自己学習力の形成と学習規律の課題」（『学校教育』862号）
6	吉本均「手段ではなく目的としてのルールを」（『小学校学級経営』39号）
6	薄井道正「大西実践にみる自学力のつけ方」（『授業研究』339号）
7	大西忠治「『学習集団論争の仕掛け』ここに争点がある」（『現代教育科学』392号）
7	折出健二「教科指導と生活指導の関連」（将積茂・霜田一敏編『教育実践学入門』朝倉書店）
7	吉本均・阿部好策・上野ひろ美・杉山緑・深沢広明『「まなざし」で身に語りかける』明治図書
7	高田清・藤原幸男・諸岡康哉・山本敏郎・湯浅恭正『否定のなかに肯定をみる』明治図書
7	吉本均・寺尾慎一・照本祥敬・豊田久亀・藤原幸男・山本順彦『教材解釈と発問づくり』明治図書
7	吉本均・岩垣摂・折出健二・子安潤・近藤毅・戸塚茂則・久田敏彦『呼びかける指導案を構想する』明治図書
7	吉本均・小野拡男・黒田耕司・近藤毅・白石陽一・三橋謙一郎・山田綾『授業展開のタクトをとる』明治図書
8	「特集・気になる『できない』生徒の指導」（『中学校学級経営』41号） 尾木直樹「原因をつかみ親・子・担任ぐるみで」 佐藤博之「自信と見通しと正当な評価を与えることから」
8	豊田久亀「子どもを学習主体にする授業」（『総合教育技術』44巻8号）
9	「特集・出来る・出来ないが逆転一劇的場面をつくる」（『授業研究』343号） 〔シンポジウム提案〕 群馬・インフィニット「授業で逆転現象をどう生み出すか」 〔提案への意見〕 佐々木俊幸「『すべての子を教え落とす』ことの重要性」 大西忠治「逆転現象に賛成！」 長谷川純夫「単発から逆転授業のデザインへ」 佐々木勝男「逆転現象の有効性と授業」 深沢久「『逆転ネタ』開発が急務！」
9	三橋謙一郎「個性的な思考の誘発と授業展開のタクト一『班（小集団）におろして広げる』タクトのあり方を探る一」（『徳島文理大学研究紀要』38号）
9	豊田久亀「導入で授業が決まる」（『学校教育』866号）
10	「特集・自主的な学習活動をどう設計するか」（『生活指導』404号） 自主的な学習活動をどう設計するか（高波勉） 〔実践記録・自主的な学習活動をどう設計するか〕 仲間と集まる楽しさから（塩崎義明） ぼくらがつくりだす勉強会（軽部計司）

年月	著書・論文　　所収雑誌・出版社
89.	学年で期末テストに取り組もう（青木敏之）
	美術科（木版画）の学習活動をどう設計したか（角岡匡卿）
10	阿部好策「集団思考のタクトを考える」（『学校教育』867号）
11	「特集・『討論の授業』をつくるゆさぶり発問」（『教育科学・国語教育』419号）
	〔提言・『討論の授業』が成立するよい発問とは〕
	望月善次「あくまで具体例で」
	岡本明人「『討論の授業』のための発問の原則」
	浜本純逸「文学教育におけるゆさぶり発問」
	大内善一「＜討論＞を組織する発問づくりの手順」
	小和田仁「対立意見を導く発問の工夫」
12	久田敏彦「『できない』の克服と学習集団の指導」（『中学校学級経営』45号）